

◎令和2年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和2年度 実施年月	連携取組開始 年度
1	神奈川大学	本学と高等学校の高大連携協定	高大連携協定に基づいた連携協力	全40校 横浜市立東高等学校 横浜市立みなと総合高等学校 横浜市立横浜商業高等学校 横浜市立横浜総合高等学校 神奈川県立旭高等学校 神奈川県立磯子工業高等学校 神奈川県立荏田高等学校 神奈川県立神奈川工業高等学校 神奈川県立神奈川総合高等学校 神奈川県立金沢総合高等学校 神奈川県立岸根高等学校 神奈川県立藤が丘高等学校 神奈川県立港北高等学校 神奈川県立商工高等学校 神奈川県立城郷高等学校 神奈川県立新栄高等学校 神奈川県立鶴見高等学校 神奈川県立永谷高等学校 神奈川県立新羽高等学校 神奈川県立横浜水取沢高等学校 神奈川県立ケ土ヶ谷高等学校 神奈川県立舞岡高等学校 神奈川県立横浜旭陵高等学校 神奈川県立横浜桜陽高等学校 神奈川県立横浜国際高等学校 神奈川県立横浜修悠館高等学校 神奈川県立横浜清陵高等学校 神奈川県立横浜南陵高等学校 神奈川県立横浜平沼高等学校 神奈川県立横浜明朋高等学校 神奈川県立横浜緑園高等学校 英理女子学院高等学校 神奈川大学附属高等学校 捜真女学校高等学部 東京横浜独逸学園 武相高等学校 横浜清風高等学校 横浜創学館高等学校 横浜中華学院 横浜隼人高等学校	通年	平成15年度
2	神奈川大学	県立高校生学習活動コンソーシアム協議会	「高校生向け公開講座」を事業提供 「SCIENCE Laboratory」を事業提供	神奈川県教育局 指導部 高校教育課	複数月開催	平成28年度
3	神奈川大学	大学体験(高大連携事業)	学部学科説明、特別講義、在学生講演、キャンパスツアー等の実施	横浜清風高等学校	令和2年11月	平成23年度
4	神奈川大学	出張講義講師派遣(高大連携事業)	本学専任教員による高等学校での模擬授業	神奈川大学附属中高等学校	令和2年12月、令和3年3月	平成17年度
5	神奈川大学	よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム運営委員会への加盟	横浜および周辺地域に活動拠点を置き、各種事業を通し国際協力、国際交流、多文化共生を推進	・NPO法人横浜NGOネットワーク ・公益財団法人 横浜市国際交流協会 ・JICA横浜 ・横浜市国際局	通年	平成30年度

◎令和2年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和2年度 実施年月	連携取組開始 年度
6	神奈川大学	SDGsよこはまCITYー国際協力・多文化共生からのアプローチ (旧)よこはま国際フォーラム2020	主催構成団体のひとつとして運営を行い、本学からは栗田谷アカデミア入寮学生4団体、外国人大学院生1名、国際日本学部教員1名を講演者として派遣	・NPO法人横浜NGOネットワーク ・公益財団法人 横浜市国際交流協会 ・JICA横浜 ・横浜市国際局	令和3年2月	令和元年度
7	神奈川大学	まち×学生プロジェクト	①「神大マルシェ」 横浜キャンパスの地元地域住民との交流を図るため、本学学生ボランティア活動支援室が地域と連携して神奈川区産の旬の野菜のほか、地域食材を生かした弁当や菓子等を展示販売 ②「六神祭(ろくじんさい)」 横浜キャンパスの地元地域住民との交流を図るため、本学神奈川大学ボランティア活動支援室が地域と連携して交流会を開催 ③「認知症啓発オレンジプロジェクト」 横浜キャンパスの地元地域住民の認知症理解を図るため、六角橋地域ケアプラザ、六角橋商店街連合会等とボランティア部「Gloval☆Yen☆Leap」が連携して啓発キャンペーンを実施 ④「キャンドルナイト」 大学生と地域団体が牛乳パックを加工して制作したキャンドルフォルダー2,000個にあかりを灯す地域交流イベントを人間科学部のゼミが開催	六角橋地域ケアプラザ、六角橋自治連合会、六角橋商店街連合会、神奈川区役所、神奈川区社会福祉協議会ほか	①、②は実施なし ③は啓発ポスター制作のみ実施 ④は実施(令和2年12月)	平成28年度
8	神奈川大学	地元商店街との連携	男子サッカー部による地域祭り・地域盆踊りの運営手伝い 男子サッカー部による地元商店街の毎週月曜朝の清掃活動参加	中山商店街	地域祭り・地域盆踊りの運営手伝い(コロナ禍にて中止) 男子サッカー部による地元商店街の毎週月曜朝の清掃活動参加(緊急事態位宣言発令中の月曜は除く)	平成18年度
9	神奈川大学	神奈川大学と横浜市神奈川区との連携推進に関する協定	相互の信頼関係に基づき、密接に連携・協力することによって、教員の養成及びその資質・能力の向上に努め、学校教育上の諸課題への対応を図り、もって横浜市の教育の充実・発展への寄与を目的	神奈川区	通年	—
10	神奈川大学	授業支援等のボランティア	教職課程を履修している学生(2~4年次生)が、横浜市内の小・中学校においてAT(アシスタント・ティーチャー)、別室登校学習支援・特別支援サポート・部活動の指導補助、宿泊行事の補助、外国籍児童・生徒のサポート等のボランティア活動を実施。地域の教育への貢献、学生の学びの場の拡大を目的	横浜市内の小・中学校	通年	平成11年度
11	神奈川大学	KMプロジェクト	2005年度から松本中学校が本学との連携を謳ってすすめてきた「バイオニクススクールよこはま」(事業主:横浜市教育委員会)の事業において、教職課程を履修している学生が、神奈川大学キャンパスツアー等の取組にボランティアとして関わっている。2008年度は「総合的な学習の時間」に学生が加わる等、地元の中学生と大学生が相互に理解を深め、地域の結びつきに貢献することを目的に実施	横浜市立松本中学校(神奈川区)	通年	平成17年度
12	神奈川大学	竹山プロジェクト	男子サッカー部による竹山団地近隣の地域活動への参加	竹山連合自治会	竹山団地防災訓練 令和2年9月 竹山子ども花火イベント 令和2年9月 竹山池の環境整備 令和2年10月 竹山池のかいぼり 令和2年12月 竹山団地周辺の落ち葉拾い 令和2年12月	令和2年度

◎令和2年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和2年度 実施年月	連携取組開始 年度
13	神奈川大学	マスク・ゴム手袋の寄付	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、マスクとゴム手袋が不足している神奈川区内の高齢者施設に対し、社会福祉法人横浜市神奈川区社会福祉協議会を通じて寄付を実施	神奈川区、社会福祉法人横浜市神奈川区社会福祉協議会	令和2年4月	令和2年度
14	神奈川大学	Web学級会の開催	新型コロナウイルス感染拡大による休校措置により学校に通えない斎藤分小学校の児童のために、神奈川大学の有志学生が放課後の時間を利用してオンラインで接触し、娯楽や学習などを企画運営して交流	横浜市立斎藤分小学校	令和2年5月～6月	令和2年度
15	神奈川大学	まち“SHOKU”の開催	新型コロナウイルス感染拡大の影響でアルバイト収入が減るなど経済的に困窮している横浜市在住の大学生等に対して、1週間分の食料を無料配布した。3日間で延べ約430名の学生へ配布し、地域住民と交流	六角橋自治連合会、社会福祉法人横浜市社会福祉協議会、横浜市六角橋地域ケアプラザ、六角橋商店街連合会、NPO法人アクションポート横浜	令和2年6月、7月	令和2年度
16	神奈川大学	かながわユースフォーラム2020の開催	ボランティアに興味がある学生を対象にオンラインによるフォーラムを開催約140名の高校生・大学生等が参加した。また本フォーラムは横浜市神奈川区の「かながわ地域支援補助金」の支援事業に採択	横浜市、神奈川区、社会福祉法人横浜市神奈川区社会福祉協議会、横浜市六角橋地域ケアプラザ、NPO法人アクションポート	令和2年7月	令和2年度
17	神奈川大学	神奈川大学と横浜市との連携協定	相互の信頼関係に基づき、密接に連携・協力することによって、教員の養成及びその資質・能力の向上に努め、学校教育上の諸課題への対応を図り、もって横浜市の教育の充実・発展への寄与を目的	横浜市教育委員会	通年	—
18	関東学院大学	横浜金沢産業連絡協議会との産学連携推進に関する協定	通常総会及び新年賀詞交歓会等に参加し、情報共有・連携に向けた検討を実施	一般社団法人横浜金沢産業連絡協議会	令和2年5月、令和3年1月	平成21年度
19	関東学院大学	連続公開講座「関内学」	関内エリアの文化やまちづくりを次世代に継承することを目的とした連続公開講座「関内学」を開催	上野トランステック株式会社、株式会社有隣堂	令和2年10月、令和3年3月	令和元年度
20	関東学院大学	リアルティグループノバルティコンペ	株式会社神奈川銀行、リアルティ株式会社と連携し、人間共生学部共生デザイン学科の学生がリアルティグループのノバルティグッズを企画するコンペを実施	株式会社神奈川銀行、リアルティ株式会社	令和2年12月	令和2年度
21	関東学院大学	横浜マリノス株式会社による本学サッカー部へのコーチ派遣	横浜マリノス株式会社から本学サッカー部へヘッドコーチ1名、コーチ1名を派遣し、サッカー部の強化を推進	横浜マリノス株式会社	令和2年4月～令和3年3月	平成23年度
22	グロービス経営大学院	共同セミナー開催	会員向けセミナー開催	JR横浜Tower Station Switch	令和2年3月	令和2年度

◎令和2年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和2年度 実施年月	連携取組開始 年度
23	慶應義塾大学	居場所「カドベヤで過ごす火曜日」 (地域交流事業)	慶應義塾大学教養研究センターにおいて、コトラボ合同会社と共同で運営しているオルタナティブ・スペース 地元の寿町や、中区・南区の住民、地元で働く人たち、そして学生たちも含め、あらゆるバックグラウンドの人々が自由に行き来して一緒に何かコトを起こしている場所	居場所「カドベヤで過ごす火曜日」運営委員会 コトラボ合同会社	毎週火曜日 令和2年10月 (創造力とコミュニティ研究会 第9回:宗教とコロナウイルス)	平成22年度
24	慶應義塾大学	スケートボード上達のためのオンラインレッスン	陸上でのトレーニングを通じて美しいスケートフォームを獲得することを目指し、リンク滑走時の成長にもつながることを視野に入れた取組。 レッスンでは、スケートの基本姿勢やスケート時のフォームなどをオンライン上で確認しながら、スケートに必要な体幹やバランス感覚を養うトレーニングを参加者と実施 加えて、各自の成長も図るため、4回のレッスン間に自宅でできるトレーニングも紹介	公益財団法人横浜市スポーツ協会	令和2年6月から7月までの毎週日曜日 (全4回、オンライン)	令和2年度
25	慶應義塾大学	横浜・関内エリアでのオープンイノベーション推進に向けた共同研究を開始	慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科と三菱地所株式会社は、関内ベンチャー企業成長支援拠点事業共同企業体(代表企業:三菱地所)が横浜市との協働事業により運営する関内ベンチャー企業成長支援拠点「YOXO BOX(よくぞボックス)」において、横浜におけるオープンイノベーションの推進とビジネスエコシステム形成を目的とした共同研究契約を、2020年11月2日に締結	三菱地所株式会社	令和2年11月	令和2年度
26	慶應義塾大学	小学生にテニスの楽しさを、新スポーツ「テニピン」菊名で横浜初の講習会	これまでの「テニス型」のスポーツは、場所の確保や用具操作の難しさ、安全面の問題もあり、学校の授業内での導入は難しいとされてきたが、「テニピン」は個人が必ずボールに触れてゲームに参加でき、得点する機会も増え、他のボールゲームにはない“個人が輝ける”良さがあるところがメリット 「テニピン」では、「易しさ」を追求して用具とルールをアレンジした「テニス型のスポーツ」として開発されており、バドミントンとほぼ同じ大きさのコートで行うことが可能	港北区小学校体育研究会、公益財団法人日本テニス協会	令和2年11月	令和2年度
27	慶應義塾大学	綱島小学校創立70周年記念式典	綱島商店街(綱島商店街連合会)からの依頼による演奏	日吉学生部学生生活担当	令和2年10月	令和2年度
28	國學院大學	万葉エコBeeプロジェクト	たまプラーザキャンパス内におけるミツバチの飼育・はちみつ採取 学内イベントにおける地域住民への配布、地域洋菓子店製品への活用	株式会社オルト都市環境研究所	令和2年4月～令和3年3月 (月1回程度活動)	平成21年度
29	昭和大学	介護職員等喀痰吸引研修	神奈川県委託事業である社会福祉士及び介護福祉士法に基づく第3号喀痰吸引等研修の講師派遣(計2回)および大学施設の無償使用(計2回)	NPO法人フュージョンコムかながわ	令和2年10月、11月	平成24年度
30	昭和大学	喀痰吸引等指導者伝達講習会の講師派遣等	神奈川県委託事業である看護職員等を対象とした喀痰吸引等研修における指導者養成のための研修会の講師派遣(計1回)および大学施設の無償使用(計1回)	NPO法人フュージョンコムかながわ	令和2年11月	平成24年度
31	昭和大学	研修実施委員会の委員就任	社会福祉士及び介護福祉士法に基づく喀痰吸引等研修の登録研修機関における研修実施委員会の副委員長として就任	NPO法人フュージョンコムかながわ	令和2年4月～令和3年3月	平成28年度

◎令和2年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和2年度 実施年月	連携取組開始 年度
32	星槎大学	図書館で哲学を〜withコロナ時代の哲学 人権と公共の福祉—その両立を考える	現代のさまざまな課題を考える上で手がかりとなる哲学を紹介する初心者向けの講座	神奈川県立図書館	令和3年1月	令和2年度
33	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	文化財保存技術の開発	石や紙などの文化財の保存材料について新たな技術を取り入れて開発	超越化研	令和2年9月～現在	令和2年度
34	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	株式会社サカタのタネと学校法人総持 学園鶴見大学短期大学部とのアクティブラーニング	神奈川県政策局政策部NPO協働推進課が実施する「パートナーシップ支援事業」を経て、鶴見大学短期大学部と株式会社サカタのタネが締結したアクティブラーニングに関する協定のもと、保育科「生活科学」等の授業内で、サカタのタネの専門家の方の栽培に関する講義や園芸指導、助言を頂きながら実践する、学生の野菜栽培体験学習 本年度はプランターを履修生宅へ送付し、家庭内栽培を実施し、オンライン講義を実施	株式会社サカタのタネ	令和2年5月	平成28年度
35	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	学内合同企業説明会	文学部3年生を主な対象都市、市内企業を含む100社を招いた合同企業説明会を実施 企業の概要や仕事の内容などについて人事担当者から直接話を聞くオンラインにて開催	民間企業	令和2年7月、9月、令和3年3月	平成12年度
36	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	鶴見大学杯少年野球大会	例年、鶴見区から後援をもらい、鶴見大学杯として少年野球大会を開催しており、今年は新型コロナウイルス感染防止の観点から、開会式及び閉会式を中止とし、無観客試合で実施	鶴見区	令和2年10月～11月	平成24年度
37	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	豊岡商店街の街路灯フラッグ作成	鶴見区豊岡商店街協同組合と地域交流協定を締結し、商店街の街路灯フラッグ作成に学生・生涯学習受講者の協力を得て地域交流を実施	鶴見区豊岡商店街	令和2年4月～8月	平成26年度
38	東京藝術大学大学院映像研究科	馬車道まつり「トワイライトコンサート 東京藝大ウィンドオーケストラ」	本学音楽学部の協力を得て、地元馬車道商店街の馬車道まつりの一環として例年実施している市民向けプラスバンドコンサートを開催	主催：東京藝術大学、馬車道商店街協同組合、横浜市文化観光局 共催：関内ホール	令和2年11月	平成20年度
39	東京藝術大学大学院映像研究科	受託事業「Marine and Walkにおける映像展示事業」	横浜みなとみらい21新港地区に立地するオープンモール「MARINE & WALK YOKOHAMA」において、プロジェクションマッピングによるディスプレイを実施	株式会社グリーンルーム	令和2年4月～令和3年3月	平成28年度
40	東京藝術大学大学院映像研究科	馬車道プロジェクション	映像研究科修士学生の制作したアニメーションを、神奈川県立歴史博物館の協力を得て馬車道口の壁面に投影 アニメーションは投影壁面の窓や装飾に合わせて制作しており、普段とは違う壁面の見え方を楽しむ内容 投影は映像研究科3Fの窓から実施	主催：東京藝術大学大学院映像研究科、横浜市文化観光局 協力：神奈川県立歴史博物館、馬車道商店街協同組合 創作的イルミネーション パートナーシップ事業	令和2年10月	平成28年度

◎令和2年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和2年度 実施年月	連携取組開始 年度
41	東京藝術大学大学院 映像研究科	「創造的イルミネーション事業」映像コンテンツ制作事業	yorunoyo × SAMPO_MAPPにおける、映像コンテンツの制作	クリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会	令和2年9月～11月	令和元年度
42	東京藝術大学大学院 映像研究科	「時計の住人」プロジェクトマッピング事業	国立病院機構 横浜医療センターのロビーにプロジェクト・マッピングによる癒しの空間を演出	独立行政法人 国立病院機構横浜医療センター	令和2年4月～令和2年9月	令和元年度
43	東京藝術大学大学院 映像研究科	Health Mock Lab.	2019年08月09日、ゲーミフィケーションを用いた新たなデジタルヘルスケアソリューション創出・実用化を目指し、3者間の産学連携のバーチャルな枠組みとして「Health Mock Lab.」を発足 これをベースに、ゲームの知見を医療に生かす共同研究を実施	公立大学法人横浜市立大学・アステラス製薬株式会社(市外)	令和2年4月～令和3年3月	令和元年度
44	東京工業大学	新技術オンラインマッチング会	東京工業大学をはじめ京浜葉地区の高等教育機関9機関が有する技術シーズ(全22件)を活用して、地域企業の新製品開発や技術の高度化等を支援するため、新技術オンラインマッチング会を開催	横浜銀行	令和3年3月	令和元年度
45	東京都市大学	横浜まちづくり学生会議	横浜市内の大学で学生主導での街づくりの実践	横浜市内の大学	令和3年3月 (金沢区西柴地区との連携)	平成27年度
46	東京都市大学	港北ニュータウン研究会	大学(横浜国大、横浜市立大、日本女子大、東海大、関東学院大、その他)、住民団体(都筑魅力アップ協議会、アイラブ都筑、ぐるっと緑道、その他)、行政(都筑区、横浜市地域まちづくり課)とともに行う合同ゼミと研究発表会を開催	大学(横浜国大、横浜市立大、日本女子大、東海大、関東学院大、その他)、住民団体(都筑魅力アップ協議会、アイラブ都筑、ぐるっと緑道、その他)、行政(都筑区、横浜市地域まちづくり課)	令和3年3月(第114回目) ※コロナ禍で開催は1回のみ	平成17年度
47	東京都市大学	つづきジュニア編集局	地域の小学生から高校生までを対象としたメディア活動の共同運営(NPO法人ミニシティプラスとの協働)(活動自体は都筑区制15周年事業としてスタート)	つづきジュニア編集局	通年	平成21年度
48	東京都市大学	つづきアーカイブクラブ	横浜市都筑区の地域アーカイブ活動団体(有志団体)の支援(ウェブページ管理、オンライン会合サポートなど)	つづきアーカイブクラブ	通年	平成23年度
49	日本体育大学	サッカーの試合運営補助	「なでしこリーグホームゲーム」試合会場での設営、受付誘導、警備、撤収	一般社団法人日体大FIELDS横浜	令和2年8月～11月	令和2年度
50	日本体育大学	地元小学校での運動会運営補助	運動会での用具準備などの運営補助	横浜市立東市ヶ尾小学校	令和2年10月	令和2年度
51	日本体育大学	地元地域ケアプラザへのイベント運営補助	かもマチ食堂Hahaha笑顔プロジェクトケアプラザに行ってみよう!「ハロウィンイベント」での会場設営、菓子配布等運営補助	社会福祉法人ふじ寿か会 横浜市鴨志田地域ケアプラザ	令和2年10月	令和2年度

◎令和2年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和2年度 実施年月	連携取組開始 年度
52	日本体育大学	地元小学校の自然体験補助	「道志村体験学習」 小学5年生自然体験学習における教職員の補助等	横浜市立谷本小学校	令和2年11月	令和元年度
53	日本体育大学	地元環境美化活動への参加	青葉台連合自治会と青葉台商店会との合同環境美化活動 への参加	青葉台商店会	令和2年11月	令和2年度
54	日本体育大学	地元小学校の宿泊体験補助	「愛川宿泊体験学習」 小学5年生宿泊体験学習における教職員の補助等	横浜市立南瀬谷小学校	令和2年11月	令和元年度
55	日本体育大学	地元地域ケアプラザへの動画提供	令和2年度 コロナ禍でも繋がる！「日本体育大学学生に学ぶラジオ 体操第一」動画の制作、DVD提供	社会福祉法人ふじ寿か会 横浜市鴨志田地域ケアプラザ	令和2年12月	令和2年度
56	日本体育大学	地元小学校の学習支援	授業補助、見守り	横浜市立東市ヶ尾小学校	令和2年10月～12月	令和2年度
57	日本体育大学	地元高等学校への学習支援	「田奈ゼミ学習支援ボランティア」 放課後補習の学習支援	神奈川県立田奈高等学校	令和2年12月	令和2年度
58	日本体育大学	地元ショッピングセンターとの連携	「箱根駅伝出場記念 応援メッセージを書いて送ろう！」 応援メッセージポスター作成の情報・写真提供、ポスター掲示	青葉台東急スクエア	令和2年12月	令和元年度
59	日本体育大学	地元鉄道会社との連携	「東急電鉄 ココロつなぐプロジェクト」(Twitter) 箱根駅伝応援メッセージ投稿の情報・写真提供	東急電鉄株式会社 青葉台駅	令和2年12月	令和2年度
60	日本体育大学	地元地域ケアプラザへの出張講座	「膝痛を予防して元気に歩こう！」 講話、実践指導	社会福祉法人ふじ寿か会 横浜市鴨志田地域ケアプラザ	令和3年1月	令和2年度
61	日本体育大学	地元地区センターへの出張講座	「部活を頑張る女の子のために親が知っておいた方がいいこと」 講演	公益社団法人 横浜市民施設協会 横浜市奈良地区センター	令和3年3月	令和2年度
62	日本体育大学	地元地域ケアプラザでの事業運営補助	放課後支援プログラム「鴨 Jr. English」 小学生向け英語レッスンの指導・運営補助	社会福祉法人ふじ寿か会 横浜市鴨志田地域ケアプラザ	令和3年3月	令和2年度

◎令和2年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和2年度 実施年月	連携取組開始 年度
63	フェリス女学院大学	日本語の個人指導など	正課外で、留学生が日本語の個人指導を受けている	NPO法人留学生と語り合う会	通年	平成17年度
64	フェリス女学院大学	「緑園都市駅音環境デザインプロジェクト」における産学連携	緑園都市駅の構内の音環境の整備の一環として、電車到着サイン音「アンダンテ」を開発	相模鉄道株式会社、相鉄ホールディングス株式会社	通年	平成28年度
65	フェリス女学院大学	『百人一首』の給食のメニュー化を通し、新たな文化を創造するプロジェクト	『百人一首』をモチーフにした学校給食のメニューの考案・提案	①横浜市立緑園東小学校 ②横浜市北方小学校	令和2年4月～9月	令和2年度
66	放送大学神奈川学習センター	公開講演会	放送大学神奈川学習センター非常勤講師伊藤信之氏による公開講演会「日常生活の中でのトレーニングとストレッチング」を大岡地区センターの施設を会場として利用して開催	横浜市大岡地区センター	令和2年11月	令和元年度
67	明治学院大学	ヤギ除草システム	エコキャンパスと称する本学横浜キャンパスの除草のためヤギを導入	有限会社アルファグリーン	令和2年10月～12月	平成25年度
68	八洲学園大学	みなとみらいかもめschool	(一社)横浜みなとみらい21が主催する、みなとみらい21地区の就労者に向けた講座にて、企画の立案、本学の講師を派遣を実施	一般社団法人横浜みなとみらい21	令和2年10月	平成25年度
69	横浜国立大学	地域課題実習「ハマの屋台PJ」	まちのにぎわいを生み出すツールとして、移動式屋台を提案し、大学周辺の常盤台地区、相鉄線南万騎が原駅周辺、関内周辺を活動エリアとして、屋台を使ったまちづくりプロジェクトを実施。学生が製作した移動式の「ほどわごん」を用いて地域のイベント等に参加したり、地域への貸出を実施	常盤台地区連合町内会、みなまきラボ、ゆたかないばしょ運営委員会ほか	通年	平成25年度
70	横浜国立大学	地域課題実習「和田べんプロジェクト」	地域の活性化を目的に、大学での弁当販売、和田町産蜂蜜の広報活動、ゆるキャラによる広報活動、イベントの企画・開催などの活動を実施 令和2年度の活動は新型コロナウイルスの影響により、ゆるキャラを利用したSNSやオンライン上にて広報活動	和田町タウンマネジメント協議会、和田町商店街、和田西部町内会ほか	通年	平成19年度
71	横浜国立大学	地域課題実習「市民活動を体験して考える協働型まちづくりPJ」	NPOがどのような活動を行い、社会に影響を与えているか、今後のNPOの在り方について学習するために、NPOインターンシップ事業に学生が参画	NPO法人アクションポート横浜ほか	通年	平成20年度
72	横浜国立大学	地域課題実習「ワダヨコプロジェクト」	和田町に住む多世代の人達と学生が活発に交流し、互いに支えあう地域づくりを目指し、イベントを企画・実施。令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、オンラインでの活動とし、避難場所の看板・リーフレット作り、オンラインお話し会、私たちのわだまちコンテスト、商店街テイクアウト情報発信等を実施	和田西部町内会、和田町商店街組合	通年	平成22年度

◎令和2年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和2年度 実施年月	連携取組開始 年度
73	横浜国立大学	地域課題実習「アグリジブプロジェクト」	農業による地域活性化の実践を行うプロジェクト 大学周辺の農家の協力を得て野菜を栽培し、地域で直売を実施 令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、オンラインでの活動とし、 オンライントークイベント「おたがいハマトーク」への参加、フードロスと学生 の野菜不足解消を目的としたスムージーの商品開発などを実施	常盤台コミュニティハウス、常盤台地区 連合町内会ほか	通年	平成29年度
74	横浜国立大学	UR連携事業	UR都市機構との包括連携協定を踏まえて、洋光台をパイロットモデル 対象として位置づけ、持続性のある集合住宅のモデルについて検討	独立行政法人都市再生機構	通年	平成28年度
75	横浜国立大学	地域課題実習「ニュー・ニュータウン プロ ジェクト」	オールドタウン化しつつある郊外のベッドタウンを、豊かなニュータウンに再 編することを目標に、まちづくり拠点「みなまきラボ」と協働し、商店街 の活性化を目指したイベント等を実施 令和2年度はオンラインでウェブサイトとまちあるきマップの作成を実施	みなまきラボ運営委員会、万騎が原 中央商店街、万騎が原小学校ほか	通年	令和元年度
76	横浜国立大学	地域課題実習「コットンおとなりさんプロ ジェクト」	コットンハーバー地区をフィールドに、どの世代も交流できるコミュニティづく りを目指し活動。CCT(コットンコミュニティタウン)、各自治会と協力し、 各種イベントを企画・開催	CCT(コットン・コミュニティ・タウン)、コッ トンハーバー地区各自治会	通年	令和2年度
77	横浜国立大学	地域課題実習「南米につながる子どもた ちとの横浜「共生」プロジェクト」	横浜市内で生活している外国につながる、あるいは障がいのある子供た ち、脆弱な状況にある子供たちの生活の質の向上を目的とし、就学支 援等を実施 令和2年度はオンラインでの活動とし、関連施設からの情報収集、課題 整理、報告書の作成を実施	保土ヶ谷区社会福祉協議会、県営 笹山団地自治会、笹山保育園ほか	通年	令和2年度
78	横浜商科大学	生麦中学校ブロック罹災者支援ネット ワーク	災害時の連携・協力、地域避難者の支援、児童生徒の安全確保等	岸谷、生麦、寺尾の3小学校と生麦 中学校、法政国際高等学校	通年	平成23年度
79	横浜商科大学	課題解決型学習:ビジネス課題チャレンジ	市内企業からそれぞれの抱える経営課題を取り上げ、学生チームが解 決策を提案し研究レポートとして提示、プレゼンテーションを実施 今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、発表会も含め て全てオンラインで実施	横浜FC、横浜市鶴見区など	令和2年9月～令和3年1月	平成28年度
80	横浜商科大学	スポーツ関連産業人材育成における連 携に関する協定に基づく連携事業	経営学のゼミで横浜FCサポーター増加を目指す企画や展示を実施	横浜FC	通年	平成30年度
81	横浜国立大学	教員地域貢献活動支援事業	自治体・企業・NPO法人等の団体から提案された地域課題に対し、教 員と課題提案者が協働で、調査・研究・社会実験等を実施(連携期 間は最大3年間)	京浜急行電鉄株式会社、特定非営 利活動法人 金沢区民協働支援協 会	令和2年4月～令和3年3月	平成29年度
82	横浜国立大学	CampusTownKanazawa(大学のあるま ちづくり)	金沢区、関東学院大学、横浜国立大学で連携した「大学の活力を生 かしたまちづくり」の取組。 学生が行う地域貢献活動に補助金を交付する「サポート事業補助金」 を実施	学校法人関東学院	令和2年7月～令和3年3月	平成20年度

◎令和2年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和2年度 実施年月	連携取組開始 年度
83	横浜市立大学	自走型コミュニティ構築を目的とした地域マネジメント体制および拠点構築に関する実践研究(教員地域貢献活動支援事業エリアマネジメント活動支援型)	金沢シーサイド地区における自立的かつ自走型によって持続するエリアマネジメント体制の構築を目指して、連携を実施	横浜市住宅供給公社、株式会社安藤建設、石井造園株式会社、株式会社横浜シーサイドライン、京浜急行電鉄株式会社、株式会社横浜八景島、株式会社三春情報センター、大和リース株式会社、三井不動産株式会社	令和2年4月～令和3年3月	平成30年度
84	横浜市立大学	環境未来都市横浜 かなざわ八携協定	環境未来都市横浜の推進を目的として、連携を実施	京浜急行電鉄株式会社、株式会社横浜シーサイドライン、横浜商工会議所、株式会社横浜八景島、学校法人関東学院、横浜金沢観光協会	令和2年4月～令和3年3月	平成26年度
85	横浜市立大学	地域の活性化等に係る連携協定書	大学サテライト拠点を中心とした地域情報の共有・発信、地域拠点の活用、地域資源の活用、地域コミュニティの活性化	横浜市住宅供給公社	令和2年4月～令和3年3月	平成28年度
86	横浜市立大学	金沢シーサイドタウンにおける活性化等推進に係る連携協定	大学サテライト拠点を中心とした地域情報の共有・発信、地域拠点の活用、地域資源を活用した健康維持・増進	独立行政法人都市再生機構 神奈川地域支社(UR)	令和2年4月～令和3年3月	平成26年度
87	横浜市立大学	金沢区谷津町町内会の夜間防犯パトロールにシェアハウス居住学生の参加	横浜市立大学が借り上げる「国際交流型シェアハウス(定員8名)」がある金沢区谷津町への地域貢献活動の一環として、シェアハウス居住学生(在校学生、留学生)が、2か月に1回開催する夜間防犯パトロールに参加する。(グローバル推進室職員も同行)	金沢区谷津町町内会	令和2年4月～令和3年3月	平成30年度
88	横浜市立大学	市民講座	毎年、所蔵資料を紹介しながら様々なテーマの講座を開催 令和2年度のテーマは「横浜・みなとみらい地区の発展と横浜市立大学」 みなとみらいサテライトキャンパス開設にちなみ、本学教員及び三菱地所横浜支店に協力を仰ぎ、みなとみらい地区の歴史やこれからの横浜市立大学との関わり等を紹介	三菱地所横浜支店	令和2年12月	令和2年度
89	横浜市立大学	横浜をつなげる30人	横浜市内の産学官民の30人での、対話型・継続型・実践型の街づくりプロジェクト	京セラ、村田製作所、京急、横浜銀行、日揮、NTT東日本など	令和2年10月～令和3年3月まで、月1回、全6回	令和2年度
90	横浜市立大学	横浜におけるオープンイノベーション推進及びビジネスエコシステム形成に関する研究	主にみなとみらい地区における諸活動	三菱地所	令和2年9月～令和3年6月	令和2年度
91	横浜市立大学	横浜イノベーションエコシステムビジョン検討会	横浜のイノベーションエコシステムのビジョンを検討	三菱地所等	令和2年10月～12月	令和2年度
92	横浜市立大学	寄附講座	特講(寄附講座:環境経営の最先端:グリーン購入が開く環境都市)	横浜グリーン購入ネットワーク	令和2年9月～令和3年3月	平成26年度

◎令和2年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和2年度 実施年月	連携取組開始 年度
93	横浜市立大学	総合講義	総合講義(連携特別講座「国際協力事業」)	JICA横浜	令和2年9月～令和3年3月	平成18年度
94	横浜市立大学	新型コロナウイルスのクラスター発生福祉施設へのCT搭載車の派遣	新型コロナウイルスのクラスターが発生した横浜市内の高齢者福祉施設にCT搭載車を派遣し、画像診断を通して施設内でのCOVID-19の重症度評価や基礎疾患の把握に寄与	社会福祉法人が運営する横浜市内の高齢者施設2か所	令和2年9月 令和3年2月	令和2年度
95	横浜市立大学	金沢消防団の団員募集オンライン説明会	金沢消防署の職員による学生団員募集説明会をオンラインにて実施 本学の現役団員ならびにOG3名が体験談を発表した 22名の学生が参加	金沢消防署	令和2年7月	平成28年度
96	横浜市立大学	ボランティアツアーによる市内の団体へのボランティア活動	ボランティアを始めるきっかけ作りとして、ボランティア支援室学生スタッフVolunchのメンバーと在学生在が、市内の公益財団法人やNPO法人などが実施するボランティアに参加した 令和2年度は学習支援のボランティア活動に①のべ11名(三日間合計)、②6名(予定)が参加	①横浜市六浦地域ケアプラザ ②公益財団法人よこはまユース	①令和2年9月、10月 ②令和3年3月	平成29年度
97	横浜市立大学	大学生への「食」支援	新型コロナウイルス等の影響により、厳しい状況である学生に向けた食品配付を実施 ①②は社協主催による金沢区および近隣区在住の学生、③は本学主催で在在学生への支援活動	①②社会福祉法人金沢区社会福祉協議会 ③社会福祉法人金沢区社会福祉協議会、公益財団法人フードバンクかながわ	①令和2年6月、②7月、 ③令和3年3月	令和2年度
98	横浜市立大学	「ICCAアジア・パシフィック部会サミット2020」フォーラム運営補助	観光ビジネス分野の中でも「MICE*」をテーマとして取り扱う国際会議のボランティア	公益財団法人 横浜観光コンベンション・ビューロー	令和2年12月	令和2年度
99	横浜市立大学	学生による病院ボランティアの取り組み事業	センター病院と連携し、新型コロナウイルス等の影響により入院患者および医療従事者のために、学生が出来ることを意見交換し、病院ボランティアグループを発足 センター病院の入院患者に配付する、折り紙キットを制作	横浜市立大学センター病院	令和2年8月～令和3年3月	令和2年度
100	横浜市立大学	キャリア形成正課科目への登壇	ヨコハマ・カナガワ留学生就職促進プログラムの一環で、キャリア形成正課科目でのゲスト講演と学生成果発表の評価を依頼。 ※科目名:キャリア形成実習(横浜の産業と企業理解)	ヨコハマSDGsデザインセンター	令和2年9月	令和2年度
101	横浜市立大学	横浜市医療局合同会議	情報交換・共有	横浜市医療局	令和2年6月 令和2年9月 令和2年11月 令和3年1月 令和3年3月	記録では 平成29年度
102	横浜市立大学	神奈川県看護協会	訪問看護ステーションでの実務	神奈川県看護協会	令和2年9月～令和3年2月	令和元年度

◎令和2年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和2年度 実施年月	連携取組開始 年度
103	横浜市立大学	横浜市医療局がん・疾病対策課	AYAセンター設置についての検討	横浜市医療局	令和2年10月 令和3年2月	令和2年度
104	横浜市立大学	地域病院および薬剤師会との連携推進	区内7病院と金沢区薬剤師会で、「金沢区地域薬事連携協議会」を組織し、定期的な会議や薬剤師を対象とした研修会を開催し、薬業連携の推進に寄与	金沢区薬剤師会	令和2年4月～令和3年3月	平成21年度
105	横浜市立大学	福祉保健施設従事者向け出張講座	福祉保健施設従事者向けに、医薬品の知識向上のための講座を実施	社会福祉法人横浜市社会福祉協議会	令和2年12月	平成26年度
106	横浜市立大学	障害者施設利用者および従事者向け出張講座	脳血管疾患等による後遺症等(片麻痺や高次脳機能障害)等による中途障害を有する利用者および施設の従事者向けに、医薬品の知識向上のための講座を実施	NPO法人中途障害者地域活動センターライブアップ金沢	令和2年10月	平成30年度
107	横浜市立大学	コロナワクチン取扱出張説明会の開催	新型コロナワクチンの管理方法や調製方法について、横浜市薬剤師会会員向けに実技指導講習会を実施	一般社団法人横浜市薬剤師会	令和3年3月	令和2年度
108	横浜市立大学	健康長寿の向上をめざしての生活習慣改善・行動変容の実現のためのワイヤレスセンサシステムを活用したカフレス式(腕帯不要)の新規家庭血圧測定機器の開発	『健康長寿の向上をめざしての生活習慣改善・行動変容の実現のためのワイヤレスセンサシステムを活用したカフレス式(腕帯不要)の新規家庭血圧測定機器の開発』の事業内容の詳細は、共同研究における守秘義務契約のために開示不可であるが、共同研究自体は順調に進行中	華為技術日本株式会社 日本研究所(横浜市内)	令和2年4月～令和3年3月	平成30年度
109	横浜創英大学	学生ボランティア参加の社会福祉協議会活動	霧が丘社会福祉協議会の「子育てサロン(親子のサロン)」「高齢者の交流サロン」「ひまわり教室(中途障害者のリハビリ教室)」に学生がボランティアとして受け入れてもらい活動	霧が丘地区社会福祉協議会	令和2年10月～12月	平成29年度
110	横浜創英大学	横浜創英大学と横浜市緑区との連携・協力に関する基本協定(地域連携協定)	①大学図書館の開放(緑区内の保育園及び幼稚園に勤務する保育士及び幼稚園教諭) ②緑図書館入口モニュメント作成	横浜市緑区	①通年 ②令和2年12月	平成26年度
111	横浜美術大学	県立あおば支援学校の校章デザイン	今年4月に開校した神奈川県立あおば支援学校の校章をデザイン	神奈川県立あおば支援学校	令和2年4月	令和元年度
112	横浜美術大学	横浜市立山内小学校の仮囲いアート	横浜市立山内小学校(横浜市青葉区)の仮囲いアートが完成し、増築工事中の小学校の敷地内に設置。小学1年生の児童が「山内」「友達」「自然」「宇宙」「オリンピック」の5つのテーマで描いた絵を、幅4m、高さ2mのパネル5枚の仮囲いにデザイン	横浜市立山内小学校	令和2年4月	令和元年度
113	横浜美術大学	「青葉台東急スクエア」の20周年記念企画で壁画デザインとアイコンデザインを制作	青葉台駅(東急電鉄田園都市線)に隣接する複合商業施設「青葉台東急スクエア」の連絡通路の壁画デザインおよびアイコンデザインを制作	株式会社東急モルズデベロップメント	令和2年11月	令和元年度

◎令和2年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和2年度 実施年月	連携取組開始 年度
114	横浜美術大学	青葉警察署前の交通安全標語看板のイラストをデザイン	青葉警察署前の交通安全標語看板のイラストをデザイン 青葉警察署、青葉交通安全協会、青葉安全運転管理者会、青葉青少年交通安全連絡協議会との連携	青葉警察署 青葉交通安全協会	令和3年2月	平成25年度
115	横浜美術大学	中里北部地区気づきの和ロゴマークデザイン	中里北部地区のネットワーク「気づきの和」ロゴマークをデザイン	中里北部気づきの和連絡会	令和3年2月	令和2年度
116	横浜薬科大学	薬物乱用防止キャンペーンへの協力	教職員及び学生による薬物乱用防止教室の動画配信への協力	横浜市薬剤師会	令和3年1月～2月	平成24年度
117	横浜薬科大学	とつかりビングラボへの参加	令和2年4月から運営会議に毎月参加 令和2年11月の「とつか未来会議」に参加	とつかりビングラボ事務局 横浜市政策局共創推進課	運営会議：令和2年4月	平成30年度